

平成18年度  
事業報告書

財団法人 大阪国際児童文学館

<はじめに>

当法人は、設立以来、児童文学・児童文化に関する図書その他の資料の収集保存、活用及び調査研究並びに国際交流に係る各種事業を実施することにより、児童文学・児童文化振興に努めてきた。

平成18年3月に指定管理者の指定を受けて、平成18年度から5年間、大阪府立国際児童文学館の管理運営にあたることとなった。

平成18年度は、児童文学館の管理運営と児童文学等の資料の収集・整理・保存、講座・講演会等の開催、調査・研究などを行なった。また、子ども読書活動推進事業等を大阪府から受託し実施した。

絵本を通して、台湾と日本の文化の相互理解を深めるとともに、国内外の研究者のネットワーク構築に寄与するため、中国語圏の絵本と日本の絵本；1台湾として「台湾と日本の絵本」をテーマにしたシンポジウムや2005年に出版された子どもの本について紹介、解説を行う「本の講座」など児童文学・児童文化の講座等を開催した。また、夢の池劇場やこども室行事の開催、共同研究事業の実施、国際交流事業として「国際グリム賞」の受賞者の選考や系統的な外国語資料の収集及び解説等を行い児童文学・児童文化等の振興に努めた。

経営目標を事業、財務、人事組織の各分野ごとに設け、その実現を図るとともに、児童文学資料の収集・整理・保存・活用機能を維持し、調査・研究については、より利用者ニーズに対応したものに重点化を図り、管理的経費の縮減や、利用者のニーズと意見の把握など経営改善に取り組んだ。

事業目標の分野においては、より利用者満足度の高いサービス提供に努めるため、各種事業におけるアンケート調査の事業への反映や児童文学等に関心を持つ人々や組織との協働による施設・事業運営を行うため、外部の専門家等との共同研究やボランティアとの協働を行った。

財務目標の分野においては、国等の助成資金の活用を図るなど事業費等の確保に努め、財務体質の改善を行った。

人事・組織の分野においては、人事評価を実施したほか、職員研修を計画的に実施するなど人材育成に努めた。

## ○役員会等の開催状況

### 1. 理事会

開催年月日	議事内容
18. 6. 2	(1) 評議員の選出について
18. 6. 27	(1) 平成17年度事業報告について (2) 平成17年度収支決算について
19. 3. 19	(1) 平成18年度収支予算の補正について (2) 平成19年度事業計画について (3) 平成19年度収支予算について (4) 中期経営計画について

### 2. 評議員会

開催年月日	議事内容
18. 6. 13	(1) 平成17年度事業報告について (2) 平成17年度収支決算について
19. 2. 8	(1) 平成18年度収支予算の補正について (2) 平成19年度事業計画について (3) 平成19年度収支予算について

### 3. 運営協議会

法人運営の基本的事項について協議を行った。

第1回 平成18年6月9日

第2回 平成19年2月5日

### 4. 役員の異動について（敬称略）

#### (1) 評議員の異動（年月日）

(就任)	池宮 俊伸	(18. 6. 2)	(退任)	黒田 忠一
〃	鉄野 孝之	(18. 6. 2)	〃	北尾 悦幸
〃	西田 益久	(18. 6. 2)	〃	奥村 直樹
〃	前田 章夫	(18. 6. 2)	〃	稲垣 房子

## ○事業実施の概要

### I 施設の維持管理及び利用促進事業

講堂、セミナー室、特別閲覧室等施設の良い維持管理を行うとともに児童文学等の催し等のために講堂、セミナー室、特別閲覧室を一般の利用に供した。

講 堂	セミナー室	特別閲覧室	計	府費徴収納付額合計
12件	37件	40件	89件	221,120円

### II 児童文学等に関する図書、記録その他の資料を収集し、利用に供する業務

#### 1. 資料の収集

資料収集は、①から③に関し、現在出版されている児童書及び研究書を収集するとともに、関連資料についても幅広く収集するように努めた。また、古書について、ホームページ等で提供を働きかけるなど寄贈依頼を積極的に行うことにより、過去発行されて所蔵リストにない学術的に貴重な資料についても収集に努めた。なお、収集について、マンガ本については、子どもの読者を対象としたものに限定するなど収集の精査を行い、外国語資料については、開架用の理論書、絵本等に重点を置いて収集を行なった。

- ① 日本及び外国の児童図書
- ② 児童文学・児童文化に関する研究書
- ③ 整理業務及び閲覧に必要な参考資料  
(上記についての雑誌、新聞等の逐次刊行物含む。)

(購入資料)

(単位:点)

区 分		前年度までの累計	18年度購入実績	合 計
図 書	和 書	141,996	5,268	147,264
	洋 書	20,408	360	20,768
	合 計	162,404	5,628	168,032
雑 誌		57,483	1,425	58,908
そ の 他		1,948	80	2,028
合 計		221,835	7,133	228,968

(寄贈資料)

(単位:点)

区 分	前年度までの累計	18年度寄贈実績	合 計
図 書	190,923	4,171	195,094
雑 誌	197,916	4,606	202,522
そ の 他	122,591	176	122,767
合 計	511,430	8,953	520,383

## 2. 資料の整理

購入・寄贈資料について、整理方針に基づき整理を行った。また、書架効率の高い配架と請求記号により閲覧利用の便宜を図るほか、迅速かつ効率的な資料整備を実施し、来館者やインターネット利用者への的確な資料情報提供に努めた。

(資料の整理状況)

(単位:点)

区 分	前年度までの累計	18年度整理実績	合 計
図 書	353,327	9,799	363,126
雑 誌	255,399	6,031	261,430
そ の 他	124,539	256	124,795
合 計	733,265	16,086	749,351

※貸出用資料の破損、複本の活用等による平成18年度までの払出数

52,296点(現在数 697,055点)

## 3. 資料の保存

明治・大正期の児童図書、少年少女雑誌、絵雑誌、同人雑誌、絵本原画、紙芝居等をはじめとする多種多様な所蔵資料の保存環境を整え、利用の便宜を図った。

## 4. 資料の活用

インターネットを活用し、ホームページにより当館の案内情報を提供するとともに、蔵書の検索、関連機関へのリンク機能などを活用し、広く資料活用の促進を図った。

## 5. こども室、閲覧室におけるサービスの充実

利用者サービスの拡充に努めた。こども室では多様な読書サービスを提供するとともに、登録者の図書・雑誌の館外貸し出しを行った。

## 6. 「レファレンス」サービス

来館利用者及び電話や電子メールなどによる児童文学等に関する文献資料及び情報の紹介・提供依頼に応じるほか、公立図書館・学校などの機関からの照会・相談に応じた。



意識した構成)

韓国Bセット(103冊。神話や伝説の絵本、伝統・文化・暮らしがわかる  
絵本など5つのカテゴリに分けて紹介)

#### 9. 資料複写利用者サービス事業

来館利用者及び当館ホームページ上からの複写申込などにより、利用者の要望に応じ、  
カラー複写を含む資料の複写サービスを行った。

マイクロフィルム電子印画 及び電子式複写印画 40,725枚

### Ⅲ 児童文学等に関する講座・講演会等の開催業務

#### 1. 講座・講演会の開催

##### (1) 児童文学講演会

- |      |  |
|------|--|
| ①日程  | 平成18年6月4日(日)                                     |
| 場所   | 当館講堂   |
| 題名   | 「こどものとも50周年—こどものとものあゆみ」                          |
| 講師   | 松居 直氏(福音館書店相談役、当財団理事長)                           |
| 演奏家  | 田中 峰彦氏(シタール演奏家)                                  |
| 参加者数 | 161名   |
| 共催   | 大阪国際児童文学館を育てる会                                   |
| ②日程  | 平成18年9月17日(日)                                    |
| 場所   | 当館講堂   |
| 題名   | 「マザーグースの不思議な世界」                                  |
| 講師   | 藤野 紀男氏(マザーグース学会会長、日本イギリス児童文学会会長、<br>十文字学園女子大学教授) |
| 参加者数 | 70名  |
| 共催   | マザーグース学会 後援 日本イギリス児童文学会                          |

##### (2) 国際講演会

- |      |                              |
|------|------------------------------|
| 日程   | 平成18年6月26日(月)                |
| 場所   | 当館セミナー室                      |
| 題名   | 「東欧の絵本—BIBの現場から—」            |
| 講師   | バルバラ・ブラトヴァー氏(BIB事務局長、美術史研究家) |
| 通訳   | 石川 晴子氏(関西大学講師・児童文学研究家)       |
| 参加者数 | 25名                          |

(3) 「本の講座」の開催

「2005年に出版された子どもの本」を紹介、解説する。

日程 平成18年4月30日(日)、5月1日(月)  
場所 当館講堂  
題名 紹介と解説 「2005年に出版された子どもの本」  
講師 西村 寿雄氏(科学読物研究会)  
右田 ユミ氏(箕面市立豊川南小学校図書館司書)  
他当館職員  
対象 教員、司書、読書推進関係団体、府民等  
参加者 4月30日 93名 5月1日 77名

2. 事業へのボランティアの参加と協働による事業の充実

(1) ボランティア研修講座の開催

当館おはなし会等への参加実践、こども室行事等についての意見聴取などボランティアとの協働とボランティアを通じた地域の読書支援のために、ボランティア研修講座を開催した。

a スキルアップ講座 「こどもと本をよむ」		
講師 当館職員ほか		
平成18年6月13日～11月28日(全4回)	当館	参加 12名
b 伝承講演会(日本学術振興会・プロジェクト研究事業との共催) ※一般府民にも公開		
講師 大野 寿子(愛知教育大学専任講師) 三原 幸久(関西外国語大学名誉教授) 内ヶ崎 有里子(岡崎女子短期大学助教授) 斉藤 純(天理大学教授)		
平成18年6月27日～11月18日(全3回)	当館	参加 延べ105名
c おはなし会研修		
講師 当館職員ほか		
平成18年5月23日～11月28日(全3回)	当館	参加 32名

(2) ボランティア自主研修への支援

ボランティア登録者がグループを作って自主研修を平成18年4月18日～平成19年3月20日(火)までの全5回当館において実施した。職員がアドバイザーとしてそれぞれのボランティアの地域活動に関わる資料支援や助言を行った。

### (3) ボランティアの事業への参画

当館のボランティア研修講座及び人形劇講座修了者を中心に希望者を募り、主催事業等への参画を促進した。

- ① 子ども読書の日記念「おはなしのバスケット」等への参加
- ② こども室行事（夢の池劇場・おはなし会等）への参加
- ③ 団体利用プログラム（おはなし会形式のプログラム）への参加
- ④ 「2005年に出版された子どもの本」の紹介、解説への参加
- ⑤ 当館事業のチラシの配付を支援・協力

### 3. 団体利用プログラム等

保育所・幼稚園、小・中学校、高校、養護教育諸学校の団体の来館者を対象に、園児・児童・生徒が楽しく読書をするきっかけづくりや物語の世界にふれ、本への興味や関心を持つためのプログラムの充実を図り、実施することにより施設の利用促進に努めた。府内の保育所・幼稚園、小学校・中学校、高校、養護教育諸学校に網羅的にチラシを配布し、府における市町村学校教育担当者会議等においても積極的に広報を行った。

さらに近隣地域を中心に子育てサークルや地域の子ども会等子どもに関わる活動団体・グループ等にもPRし利用の拡大を図った。

内容：主題別、対象別にプログラムを作成し、案内

#### ○プログラム利用（平成18年4月～19年3月）

保育園（所）・幼稚園	：	17団体	910名
小学生 低学年	：	10団体	894名
小学生 高学年	：	6団体	511名
中学生	：	1団体	62名
その他の団体	：	3団体	118名
		計37団体	2,495名

#### ○こども室自由読書（平成18年4月～19年3月）

14団体 850名

### 4. 見学

希望者に書庫をはじめ館内を案内し、説明する「ガイドツアー」を実施した。

34件 316名

### 5. 「夢の池劇場」の開催（「子どもゆめ基金」対象事業）

世界のおはなし、アニメーション、人形劇など、親と子どもが楽しめる行事を行った。

①「夢の池劇場2006」		
a 「バオバブの木の下でー西アフリカおはなし村からー」		
語　　り 江口　一久（国立民族学博物館名誉教授）		
太鼓演奏 河辺　知美（太鼓演奏家）、ジョセフ・ンコシ（バラフォン演奏家）		
平成18年5月3日（水・祝）午後	当　　館	参加　子ども35名大人62名
b 「世界のアニメーション」		
協　　力 ヤマハ・ミュージック・メディア　アット・アームズ		
平成18年5月4日（木・祝）午後	当　　館	参加　子ども23名大人27名
c　ワークショップ「ようこそ宮沢賢治の世界へ」（「子どもゆめ基金」助成事業）		
講　　師 遠藤　純（当館主任専門員）		
平成18年5月5日（金・祝）午後	当　　館	参加　子ども24名大人30名
d　人形劇　「銀河鉄道の夜」（「子どもゆめ基金」助成事業）		
上　　演 人形劇団クラルテ		
平成18年5月5日（金・祝）午後	当　　館	参加　115名

## 6. こども室行事

子どもが本に親しみ、関心を持つための様々な試みを行い、得られた成果を子ども読書に関わる機関や団体に提示していく。具体的には、子どもと保護者がくつろぎながら、好きなときに好きなだけ本と過ごせるような場を提供するとともに、本との出会いの場としてのおはなしコーナーでの「おはなし会」の開催、物語体験、科学あそび等を行い、ボランティアとともに、読書を楽しむ環境づくりを推進した。さらに、利用者からの要望のあった、3歳から5歳向けの「おはなし会」を新たに行った。

a　おはなし会「鳥のはなし」ほか		
出　　演 当館ボランティア、当館職員		
平成18年4月9日～平成19年3月4日（19回）	当　　館	参加　子ども341名大人347名
b　3・4・5歳のおはなし会「どうぶつのはなし」ほか		
出　　演 当館ボランティア、当館職員		
平成18年6月10日～平成19年3月10日（9回）	当　　館	参加　子ども116名大人85名
c　ドイツ絵本作家ワークショップ		
講　　師 スザンネ・ベルナー（絵本作家）		
平成18年5月20日（日）午後	当　　館	参加　子ども29名大人27名

d おはなしのバスケット (子ども読書の日記念)		
出 演 当館ボランティア		
平成18年4月16日 (日) 午後	当 館	参加 子ども12名大人18名
e ワークショップーおはなしであそぼうー+子どもの書庫ツアー (8月13日 (日))		
講 師 当館職員		
平成18年5月28日~平成18年9月24日 (4回)	当 館	参加 子ども28名大人17名 書庫ツアー 8人
f ワークショップ「大阪ことばあそびうたー詩人島田陽子さんと詩の世界を楽しもうー」		
講 師 島田 陽子 (詩人)		
平成19年1月28日 (日) 午後	当 館	参加 子ども16名大人12名
g 物語体験クラブ テーマ 魔法		
講 師 当館職員		
平成18年4月15日~平成18年7月15日 (4回)	当館	参加 子ども4名
h 科学あそび「光のひみつー偏光板を使って遊ぼうー」 「つくろう!たのしもう!アニメーション」		
講 師 山方 剛 (工作クラブ主宰) 小谷 佳津志 (近畿アニメーション協議会)		
平成18年4月 2日 (日) 午後	当 館	参加 子ども23名
平成18年7月23日 (日) 午後		参加 子ども28名 (大人見学22名)
i 大型ビデオ上映会「ふじぎなおはなし」 +子どもの書庫ツアー		
協 力 ヤマハミュージックメディア アット・アームズ		
平成18年8月27日 (日) 午後	当 館	参加子ども27名大人16名 書庫ツアー 6名
j 万博コスモスフェスタ2006「ことばあそび大会」		
プログラム進行 当館職員、当館ボランティア		
平成18年10月22日 (日) 午後	万博公園自然文化園花の丘	参加191名
k よみがえる街頭紙芝居ー上演と展示ー		
出 演 三邑会紙芝居師、当館職員		
平成18年11月5日 (日) 午後	当 館	参加子ども72名大人68名
l お楽しみ会「世界のおはなし」		
指 導 当館ボランティア人形劇グループ「ばれっと」、当館職員		
平成18年12月17日 (日) 午後	当 館	参加子ども70名大人53名

m カルタとり大会 「大型絵本カルタの作成とカルタとり」		
指 導 当館職員		
平成19年1月7日(日)午後	当 館	参加子ども22名(大人見学19名)
n 万博公園ふれあいの日協賛「おはなしクイズに挑戦」		
指 導 当館職員		
平成19年3月11日(日)午後	当 館	参加子ども108名
o 絵本作家 中辻 悦子さんと絵本を作ろう(「子どもゆめ基金」助成事業)		
講 師 中辻 悦子 (絵本作家)		
平成19年3月18日(日)午後	当 館	参加子ども29名(大人見学40名)
p 人形劇上演「きつねのホイティ」ースリランカのおはなしー		
出 演 当館ボランティア人形劇グループ「ぱれっと」、当館職員		
平成19年1月27日(土)午後	CUBE3110 彩都 インフォ*ミュージアム	参加子ども90名大人50名

## 7. 所蔵資料の展示

常設展示コーナーに当館所蔵の絵本・児童書・原画等を計画的に展示した。また、当館職員が展示内容についての解説を加えたリストを作成し、来館者に配布した。

- ①「韓国絵本の今展」 (平成18年4月1日～4月27日)
  - ②「フランダースの犬ーネロとパトラッシュのさまざまな姿ー展」  
(平成18年4月29日～7月30日)
  - ③「マザーグースーイギリス生まれの伝承童謡ー展」  
(平成18年8月1日～平成18年10月30日)
  - ④「英雄豪傑図ー明治・大正期の絵本 絵雑誌に描かれた歴史英雄像ー展」  
(平成18年11月2日～平成19年2月13日)
- ※ギャラリートーク 解説 香曾我部 秀幸氏(展示企画・監修/当館特別研究員)
- ⑤「第23回 ニッサン童話と絵本のグランプリ入賞作品展」  
(平成19年3月1日～平成19年3月30日)

また、公立図書館等に貸出するため、当館で行った展示に使用した所蔵資料、解説資料などをパックした「フランダースの犬」「マザーグース」の展示パックを作成し、これまで作成した展示パックも含めて利用を呼びかけた。

## 8. 創作童話・絵本の募集コンクール(協賛日産自動車株式会社)

創作童話・絵本の募集コンクール「第23回ニッサン童話と絵本のグランプリ」を実

施した。

募集期間 平成18年7月～10月  
表彰式 平成19年3月11日（日）（当館講堂）  
応募数 2,661篇（童話 2,108篇・絵本 553篇）  
後援 文部科学省  
大阪府教育委員会  
社団法人日本国際児童図書評議会  
日本児童文学学会  
社団法人日本児童文学者協会

#### IV 児童文学等に関する調査及び研究業務

##### 1. 共同研究の実施

当館の職員と子どもの本に関わる分野の専門家が協働して研究を行い、共同研究委員会において評価を受けた。

研究成果については、当館のホームページに登載するなど広く普及し活用を図った。

##### ○「子どもが利用できる汎用性のある図書検索システム」の研究・開発

当館におけるインターネットによる子ども向けの図書検索システム（「本の海大冒険」）の活用状況も調査しながら、子どもにとってより使いやすい、効果的なシステムの研究開発を行った。主なターゲットを公共・学校図書館におき、子どもが自ら本を探せるシステムのありようを検討、物語キーワード（件名）体系表の低学年版を作成した。

##### ○中国語圏（その1台湾）の子どもの本・絵本の研究

近年著しい発展をみている台湾の絵本について、その現状や課題の把握、我が国の絵本の状況との比較などの調査・研究を行うとともに、論文集の刊行を行った。また、その成果は府民むけのシンポジウムなどにより情報提供するほか、図書館等に配布するとともに、子ども向けに使いやすくした絵本セットの貸し出しも行った。

#### V 諸外国との児童文学等に関する資料及び情報交換業務

##### 1. 国際交流事業「中国語圏（その1台湾）と日本の絵本」

平成15年度まで実施してきた「外国人客員研究員招聘事業」の成果を継承しつつ、幅広い人達に興味や関心を持ってもらうことのできる「絵本」をテーマに、アジア地域における児童文学先進国を重点的にとりあげる新しい事業を平成17年度から開始した。平成17年度の韓国に引き続き、平成18年度は中国語圏（その1台湾）をテーマとした事業を外部の研究者とともにプロジェクトチーム（三宅興子氏、成實朋子氏、及

び当館職員) を作って実施し、絵本を通して、台湾と日本の文化の相互理解を深めるとともに、国内外の研究者のネットワーク構築に寄与し、児童文学及び児童文学研究の促進を図った。

(1) シンポジウム「アジアの絵本の世界へようこそ 中国語圏 1. 台湾と日本の絵本」  
プレ研究会 (日本万国博覧会記念基金助成事業)

日 程 平成19年1月27日 (土)

開催場所 当館セミナー室

コーディネーター 三宅 興子氏 (梅花女子大学大学院教授)

報告者 成實 朋子氏 (中国児童文学研究者、大阪教育大学  
助教授)

鈴木 穂波 (当財団専門員)

対 象 絵本及び国際交流に関心のある府民

参加者数 44名

共催 日本児童文学学会関西例会 後援 アジア児童文学日本センター

(2) シンポジウム「中国語圏の絵本と日本の絵本 ; 1. 台湾」の開催 (日本万国博覧会  
記念基金助成事業)

日 程 平成19年3月4日 (日)

開催場所 当館講堂

講 師 頼馬氏 (台湾絵本作家)

長谷川義史氏 (日本絵本作家)

コーディネーター 土居安子 (当財団主任専門員)

内 容 台湾及び日本を代表する絵本作家がそれぞれの絵本制作について語り合うことにより、台湾及び日本の絵本の魅力を知り、「子ども」や「絵本」について考える機会とする。

対 象 絵本及び国際交流に関心のある府民

参加者数 115名

(3) シンポジウムの記録及び台湾の絵本についての研究論文集の発行

「絵本」や「台湾」に対する理解度の向上を図ると同時に、同分野の研究促進を図るため、シンポジウムの記録に加えて、「台湾の絵本」というテーマで編集した複数の論文を一冊の論文集にまとめた。論文集は府域図書館・国内外研究機関等へ配布を行う。

(4) 貸出用絵本セット(中国語圏の絵本)の作成

従来からの「台湾の絵本セット」に新たに中国の絵本を加えて「中国語圏の絵本セット」としてリニューアルし、希望する学校、公共図書館、ボランティア団体等への貸し出しを行った。

(5) おはなし会等の開催

子どもを対象に、中国の絵本を題材にした「おはなし会」などの催しをシンポジウムにあわせて開催した。

＜賛助企業：大阪ガス㈱、関西電力㈱、近畿日本鉄道㈱、サントリー㈱、  
武田薬品工業㈱、㈱竹中工務店、東洋紡績㈱、阪急電鉄㈱、  
㈱富士通東北システムズ、松下電器産業㈱＞

2. 「キワニス文庫」(大阪キワニスクラブからの寄贈により設置)の充実

大阪キワニスクラブからの寄贈をうけ、これまで招聘した外国人客員研究員などの協力を得てモンゴルなどアジアをはじめ世界各国の優れた子どもの本の充実を図るとともに、こども室と閲覧室にコーナーを設け、解説等を加えて、多くの子ども達が各国の子どもの本とのふれあいを通じて、本に興味をもち親しむ機会づくりを進めた。

3. 資料、情報交換

当館の活動及び日本の児童文学の状況について紹介した「I I C L O R E P O R T」(英文レポート)を電子メール等で、海外の児童文学専門機関等に提供するとともに、ホームページで当館の事業などの情報を提供した。また、海外の関係機関と資料、情報の交換を行った。

対象機関

国際青少年図書館 (ドイツ)、  
上海少年児童図書館 (中国)、  
世界華文児童文学資料館 (台湾)、  
スウェーデン児童文学研究所 (スウェーデン)、  
ジェノバ市立国際児童図書館 (イタリア)、  
児童文学研究所 (フィンランド)、  
ライデン大学 (オランダ)、  
国際シャルル・ペロー研究所 (フランス)、  
アメリカ議会図書館 (アメリカ)、  
セブンストーリーズ (イギリス)、

等

#### 4. 国際児童文学研究賞事業（財団法人金蘭会共催）

世界の児童文学研究に貢献する人々の業績を顕彰することにより、国際的な児童文学研究の振興に寄与する。

平成18年度は、第11回受賞者の選考を行う。

名 称	「国際グリム賞」		
アンケート	発送	平成18年	9月10日
	締め切り	平成18年	10月31日
選 考	第1次選考会議	平成18年	12月23日
	第2次選考会議	平成19年	3月21日
受賞予定者	ジョン・スティーヴンス氏（オーストラリア）		

## VI これらのほかに目的を達成するために必要な業務

### 1. 情報発信・広報事業

#### (1) ホームページの内容の充実

館の利用案内、事業案内、事業報告、複写依頼・レファレンス受付ページ等ホームページの内容の充実に努めた。

所蔵する豊富な資料情報をより活用してもらうためには、既存の実績ある国内ネットワークへの加入が必須であるため、最も定評のあるNAC S I S C A T（国立情報学研究所）に加入し、情報提供を行うための検討を行った。

- ①資料の検索サービスの充実
  - ②「本の海大冒険」等の管理・運営
  - ③当館の事業、研究成果などの紹介
  - ④国内の児童文学・児童文化関連事業の収集・発信
- 「アクセス数」 93,770件

#### (2) 対外的なシステム（組織）との連携

##### ①「大阪府内図書館横断システム」の活用

府内の主要な大学（園）や公立図書館が参加するシステムのデータベースを活用し利用者への情報提供に努めた。

##### ②児童書電子総合目録の活用

当館のほか、国際子ども図書館など国内の主要な児童書保有機関が運営する「児童書電子総合目録」を活用し利用者への情報提供に努めた。

(3) 報道機関等への積極的な情報提供

- ① 報道機関等へ催し等について積極的に情報提供を行うほか、広報媒体への資料提供を行った結果、従来からの広報媒体による紹介に加えて、朝日新聞、産経新聞、府政だより、府ラジオ広報等に掲載、紹介された。

宛先

ア「万博公園だより」	(独) 日本万国博覧会記念機構
イ「大阪モノレール沿線案内」(車内ポスター)	大阪高速鉄道(株)
ウ「えるプラザー」、「えるこみ」	サンケイリビング新聞社
エ「大阪観光イベント情報」	(財) 大阪観光コンベンション協会
オ「市報すいた」「もよおしいろいろ」	吹田市
カ 大阪府WEB情報局、府教委ニュース	大阪府
在阪テレビ局、在阪新聞社、等	

- ② 大阪府子ども読書活動推進連絡協議会で行った府域のボランティアグループに対する調査時に情報提供を希望したグループ(メールアドレスを持っている代表者82名)に対して、協議会で行う講演会等の情報提供を行った。

2. 特別研究員制度の活用

外部の研究者と新たなネットワークを築くとともに、当館の資料の活用を図るため、平成17年度試行的に募集した館外の研究者に対し、その研究成果を当館の「紀要」等に寄稿してもらうほか、当館展示等の企画・運営、講演会の開催等により還元をしてもらった。

・佐藤宗子

期 間：前期と後期

テーマ：児童文学における翻訳・再話の研究

還 元：展示の企画・運営(2006年4～7月「フランダースの犬」展)

・浅岡靖央

期 間：前期と後期

テーマ：「日本少国民文化協会」の研究

還 元：「国際児童文学館紀要」への投稿

・香曾我部秀幸

期 間：後期

テーマ：明治・大正期の絵本 絵雑誌における視覚表現の変遷

還元：展示の企画・運営（2006年11月～2007年2月「英雄豪傑図一明治・大正期の絵本 絵雑誌に描かれた歴史英雄像」展）、ギャラリートーク

### 3. 文学館レポートの発行

「大阪府立国際児童文学館REPORT」（和文・英文）の発行

### 4. 出版・編集事業の実施

児童文学・文化振興のため、次のとおり出版・編集事業を実施した。

・第22回ニッサン童話と絵本のグランプリー童話大賞受賞作品  
「大切な足ヒレ」

・第22回ニッサン童話と絵本のグランプリー絵本大賞受賞作品  
「ハルとカミナリ」

BL出版（株）と提携 平成18年12月刊行

・紀要20号発行

・北村武子氏選集「エミおばさんの雑記帳」の編集・出版（北村武子記念児童文学振興基金事業）

## VII 大阪府子ども読書活動推進事業

大阪府の総合的な読書活動の推進を図るため、行政関係者、公立図書館、学校図書館関係者、子どもの読書活動に取り組む府民グループ等を構成員とした、大阪府読書活動推進連絡協議会の事務局を引き続き務めるとともに、「大阪府子ども読書活動推進計画」における役割を担い、子ども読書活動の推進を図った。

### 1. 「大阪府子ども読書活動推進連絡協議会」事務局の運営

平成18年度の講座及び講演会等の運営・企画について話し合うため、次のとおり会議を開催した。

運営委員会の開催	年2回
部会の開催	年3回

### 2. モデル事業の実施

文部科学省の助成を受けて、地域の図書館を中心に、読書活動推進講座修了者、ボランティア、行政関係者等が中心となって、その地域の読書推進の課題を解決するために、講座やシンポジウムを開催するとともに今後につながるネットワークづくりを行うモデル事業を、寝屋川市（学齢期の子どもを対象とした読書活動推進）と河内長野市（乳幼児と保護者を対象とした読書活動推進）において行った。

また、当館と羽曳野市の小学校で、詩人島田陽子氏を招いて、子どもを対象としたオーサービジットを実施した。

実行委員会の開催 年7回

### 3. 講演会・交流会等の開催

寝屋川市と河内長野市で行ったモデル事業と、当館と羽曳野市の小学校で行ったオーサービジットについての活動報告を行うとともに、ボランティア・図書館関係者・学校関係者・行政関係者等が参加する講演会を開催した。また、ボランティア・図書館関係者・学校関係・行政関係者等の子どもの本や読書活動に関心を持つ人の情報交換の場をつくり、ネットワークを作るための交流会を開催した。

開催日 平成19年2月15日(木)

場 所 ホテルアウリーナ大阪

内 容

第1部「大阪府域での子ども読書活動の報告」

①「乳幼児と絵本：講座『子どもと楽しむ時間づくり～1歳半から2歳の幼児を中心に～』報告」(河内長野市立図書館司書 加田 朱氏)

②「学齢期の子どもの読書活動：シンポジウム『読書のよろこびを子どもたちに』報告」(寝屋川市立図書館司書 武井 昇一氏)

③「子どもの読書意欲に関する研究授業：島田陽子先生をお迎えして」  
(羽曳野市立西浦東小学校司書教諭 岡田 雅文氏)

④「大阪ことばあそびうたー詩人 島田陽子さんと詩の世界を楽しもう！ー」  
(当財団主任専門員 土居 安子)

第2部 講演会「詩を楽しむ・ことばを楽しむ」

講師：島田 陽子氏

第3部 交流会

参加者数 118名

### 4. 情報提供

平成17年度実施した府域の小・中学校、盲・聾・養護学校、読書活動ボランティアグループ、公立図書館などを対象としたアンケート調査に基づき作成・配布した、今後の読書活動推進のための連携協力用のボランティアグループのリスト(収録数162グループ)により情報提供を行った。